

ぼらんていあ情報

編集・発行

米子市ボランティア協議会 / 米子市ボランティアセンター

レイアウト

米子ワークホーム

ボランティア大募集

とりだいい病院 サポーター募集

とりだいい病院は、地域住民の方に病院運営に参加していただくことにより、住民の方や職員にとって「自慢したくなる病院」として成長することを目指しています。

サポーターとしての運営参加は外来・病棟でのボランティア活動が主なものですが、他にも病院モニター、イベント企画、広報活動支援、ご寄付による活動支援など、幅広く気軽に参加しやすい分野の活動も考えています。ぜひご力添えをお願いいたします。

応募要件

15歳以上の方 ※中学校卒業以上（未成年については保護者の同意が必要です）

本制度の趣旨を理解し無報酬の活動を理解していただける方

本院の規則を遵守し担当職員の指示に従って活動していただける方

活動時間 要相談

問合せ先

鳥取大学米子地区事務部医療支援課

TEL 38・7122

メール me-kanjasa@ml.adm.tottori-u.ac.jp

HP <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/volunteer.html>

HP



メール



高校生ボランティアリレー

米子高校 JRC 部では、青雲祭（学校祭）でクッキー販売と青少年赤十字海外支援事業に使われる一円玉募金を行いました。クッキー販売は伯耆みらいさんとかわさき吾亦紅さんのクッキーで、1袋につき20円を購入者に募金していただきました。一円玉募金にもたくさんの人が協力してくれました。接客など慣れない作業が多くありましたが、部員全員で協力してすべてのクッキーを売ることができました。しかし、袋がないので持ち帰る時に不便という点や会計時に電卓が必要だった点など多くの課題点も見つかりました。来年の青雲祭では今回の反省を生かしたクッキー販売をしたいです。

米子高等学校 JRC 部 松原史栞





米子市ボランティア協議会では、会員が米子市の様々な委員会に携わらせていただいております。今回は、その中から一つご紹介させていただきます。

■米子市福祉保健総合センター 運営委員会（8月22日）

米子市福祉保健総合センターの運営委員会があり、令和4年度の運営状況・指定管理施設モニタリング結果の報告がありました。

運営状況ではふれあいの里総合相談支援センター「えしこに」の開設、新型コロナウイルスワクチン接種会場の継続による貸室の貸出中止の継続、令和5年度に施設内のレイアウト変更が実施・計画されていると報告がされました。

モニタリング結果では、【接客対応面】【衛生面】【安全対策面】【修繕・保守面】【経営面】について資料で報告あり確認しました。

浦部 仁志

参加者募集

わらび会

誘導介助体験講座

私たちわらび会は、誘導介助や点訳、朗読を通じて、目の不自由な方のサポートをしているボランティア団体です。

目の不自由な方を見かけた。もしかしたら困っていらっしやるかも？でもなんて声をかけたらいいのかわからない。安全に誘導・案内するにはどうすればいいのか。

わらび会のメンバーと一緒に学び、体験してみませんか？

日時 11月16日（木）13：30～15：30

場所 米子市文化ホール 研修室②

内容 目の不自由な方への接し方、介助のしかたについての基本を学び、アイマスクを使って、手引き歩行の体験をします

定員 15名

主催 わらび会

締切 10月28日（土）

申込先 米子市ボランティアセンター

（水曜休館日）

TEL 23・5455

FAX 37・3855

小さな発見、目々折々(9)

～集まる場・波及するチカラ～

外出はおろか、呼吸をすることさえも体力を削られるような観測史上最も暑い夏が終わりました。ひと雨ごとに日差しが和らぎ、吹く風も心地よいものになってきたことを実感します。

しばらく遠ざかっていたひとが集まる場にいくつか参加してきました。同じ瞬間にひとつのものを鑑賞したり、一緒に体験したり、何かを学ぶ場では、初対面であってもおしゃべりや笑顔が水面の波紋のように広がっていくのを見ていて分かります。人との関わりを持つことで、小さなチカラが幾重にも波及して、無意識に作っている壁がとりはらわれていくような感覚です。

集まる場が持つ不思議な「チカラ」を大切に、人との関わりを自分なりの形で持ち続けたい、そんな場を残したいと感じました。

「集まる場」の魅力は、無限です。

（小島知子）

うごき

7月16日～9月15日

7月

- ◆22日…卓球バレー事前研修（1団体）
- 27日…「ぼら情」梱包作業（2団体）

8月

- ◆5日…卓球バレー事前研修（3団体）
- ◆12日…卓球バレー事前研修（1団体）
- ◆19日…卓球バレー事前研修（1団体）
- ◆22日…米子市福祉保健総合センター運営委員会（浦部）
共同募金運営委員会（中村）
- ◆24日…米子市地域福祉計画・
地域福祉活動計画推進委員会（中村）
- ◆26日…卓球バレー事前研修（1団体）
- ◆28日…「米子市福祉のつどい」第3回実行委員会（13団体）

9月

- ◆2日…卓球バレー事前研修（1団体）
- ◆7日…鳥取県社会福祉審議会（中村）
- ◆11日…「米子市福祉のつどい」事前説明会

令和5年度 ボランティア入門講座

「ボランティアって、どんな活動があるの?」「どんなことに気をつけたらいいの?」など、ボランティア活動を始める前の心構えや市内のボランティア活動をご紹介します。活動されている方の体験談を聞いたり、実際に体験をしてみませんか。第4回は1月(傾聴)について予定しております。

【会場】 ふれあいの里2階 【定員】 先着25名 【受講料】 無料

【対象】 市内に在住、在学、在勤の方で興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。

	日時	内容
第3回	11月24日(金) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア活動を始める前の心構え 講師:米子市ボランティアセンター職員 ■ボランティア紹介・体験【読み聞かせ】 講師:米子市朗読ボランティア「火曜の会」 会員



令和5年度 レクリエーション講座

地域のサロンで世話役として活動されている方、または、これから活動を始めてみようと思っている方を対象に、簡単にできるレクリエーションをご紹介します。第4回は2月(工作)を予定しております。

【会場】 ふれあいの里2階 【定員】 先着20名 【受講料】 無料

【対象】 市内に在住、在学、在勤の方で地域活動に興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。

	日時	内容
第3回	12月11日(月) 10:00~11:30	<ul style="list-style-type: none"> ■絵手紙を書いてみよう! 講師:とっとりいきいきシニアバンク「生涯現役」登録 倉瀧 和子さん

問合わせ・申込み先

氏名・住所・電話番号を下記の申込み先までお電話かFAXにて申込みください。
(手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨をお申込み時にお伝えください。)
米子市ボランティアセンター(水曜休館日) TEL 23-5455 FAX 37-3855

フレイル予防にギアチェンジ!

(介護支援ボランティアで活躍されている方紹介)



「フレイル」とは、加齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態となる危険性が高くなった状態をいいます。健康と要介護の中間に位置し、放っておくと要介護につながる危険が高まります。早めに気づき適切な取組を行うことで、進行を防ぎ、健康寿命を延ばせます。あなたもボランティア活動しながら「フレイル予防」をはじめませんか?

住吉地区 秋鹿 芙美子さん

◆ボランティア活動のきっかけ

夫を介護している時期、介護施設の職員の方々、地域の人、友人、知人の助けを借りて夫を見送ることが出来ました。その後、少しでも私に出来る事があればとの思いで、ボランティアをするようになりました。

◆ボランティア活動をして良かったこと

自分の出来る範囲内で、施設で傾聴、読み聞かせなどをさせていただいています。微々ではありますが、皆さんと触れ合うことで、穏やかで豊かな気持ちをたくさん頂いています。ボランティア出来るって素晴らしい事です。



まちがい探し

まちがいが3つあるよ。
探してみてね。



●「ぼらんていあ情報」の置いてあるところ
公民館・市役所・市立図書館・市児童文化センター・
市文化ホール・鳥取銀行市内各店・米子信用金庫市内各店・
日交バスセンター・ふれあいの里等
◆この情報誌に関するお問合わせ先
〒683-0811
米子市錦町1丁目139-3 「ふれあいの里」内
TEL 23-5455 FAX 37-3855
E-mail/vcyonago@chukai.ne.jp

ボランティアに関する情報を
お気軽にお寄せください。

公式LINE

友だち 募集中

お友だち追加方法

- ① ID検索(@276olufu)
- ② QRコード読み取り



お知らせ

情報機器貸出事業

きこえない・きこえにくい人の意思疎通支援のための情報機器（ヒアリンググループおよびコミュニケーション）の貸出しを行っています。

ヒアリンググループ（磁気誘導グループ）とは？

補聴器や人工内耳に直接音声を送り込むための情報機器です。周りの騒音・雑音に邪魔されずに、マイクから入った音声をイヤホンのようにきくことができ、きこえやすくなります。※テレコイル（Tモード）機能がある補聴器・人工内耳を装着されている方向け

コミュニケーションとは？

話し手の声をマイクで集音して、きこえにくい人がきき取りやすい音声に変換され、対話支援スピーカーからきくことができる機器です。

※補聴器の装着は問いません

【利用対象】

- ① 県内のきこえない・きこえにくい人の関係団体・学校教育法に定める学校・官公庁・福祉関係団体及びボランティア団体
- ② 県内在住のきこえない・きこえにくい個人
(①②とも事前に利用登録が必要です。)

【利用料】 無料

【利用期間】 1週間以内

【利用方法】

利用登録後、「情報機器借用申込書」を最寄りの聴覚障がい者センターに提出してください。(利用1週間前までに提出)

【問合わせ】

鳥取県西部聴覚障がい者センター
TEL30-3659 FAX30-3660
詳しい利用方法や手続きについてはホームページをご覧ください。



ボランティアデータ 7月1日～8月31日

新規個人登録（登録総数 389人）	4人
新規団体登録（登録総数 82団体 2,716人）	0団体
依頼（要請・お願い）	12件
相談（助言・情報提供）	72件
コーディネート（うち活動団体/9団体、個人/13人）	17件

※米子市ボランティアセンターを通して行われたデータです。

10月 11月 休館日

【10月】

4日、11日、18日、25日

【11月】

1日、8日、15日、22日、29日

※水曜日が祝日の場合は開館し、翌日が休館日となります。

開所時間 8:30～17:15

編集後記

年齢を重ねるとともに月日が経つのが早く感じます。気が付けば今年も半分終わりました。新しい環境になり、目の前にあることを終わらせるだけで1日が過ぎていきます。毎日、振り返って明日につなげる生活を心がけたいものです。

(いと)